

# せきね 知っ得! 通信

# 2

February

2017

社会保険労務士法人せきね事務所 せきね FP 事務所

〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL0258-83-3048 FAX0258-83-3049

メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.office-sekine.com>

第77号 発行：2017年2月

私の所属する小千谷ライオンズクラブでは、主に小中学校の出前授業で「薬物乱用防止教室」を行っています。

そんな中、「新潟県薬物依存症者を抱える家族の会」世話人の小西憲さんご夫妻からお話を聞く機会がありました。息子さんの薬物依存に苦しんだ経験談は本当にリアルで、胸に迫りました。その後、薬家連のHPなどで情報収集したことも含め紹介します。



## 高校卒業後、上京した息子の様子がおかしい

東京の専門学校に進学し、1人暮らしを始めた息子。1年半が経つ頃、連絡が取れなくなる。家賃や光熱費も滞納しており、生活が荒れていた。仕方なく川口町の自宅に連れ戻した。

「自分はうつ病だ」といい、大きい病院の精神科に通院。多くの処方薬を出されていたが、一向に良くならない。それどころか悪化している様子。医師もサジを投げたのか、他の精神科の病院を紹介してきた。

ある日の夕食のとき、紹介先の病院に付き添いで行った母親が涙ながらに言った。

「ウチの子、東京で覚醒剤をやっていたんだって。薬物依存症なんだって。」



## 入院すれば治ると思っていた

「覚醒剤」なんてテレビの中の出来事。薬物依存症がどんな病気なのか、全く解らない。今思えば、病院で処方される沢山の薬を飲むことで「覚醒剤」への欲求を満たしていたらしい。

とにかく、その病院に3ヶ月入院することになる。退院後は治っているものだと思っていたが、息子は1ヶ月ぐらいで勝手に帰ってきた。仕方なく他の病院を探し入院させるが、やっぱり1ヶ月ぐらいで強制退院に。息子自身は、入院してキチンと治そうなんて気は全くない。

あらゆる方法で薬を手にいれようとする。市販のかぜ薬などを万引きして大量に飲んだり、自宅でリストカットを繰り返したりの日々。母親は、万引きした薬局やドラッグストアにお金の支払いのために走り、自殺しないように家の包丁を隠した。

## ダルクの存在を知る

どうしたらいいのかわからないとき、薬物依存症者のための民間リハビリ施設「ダルク」の存在を知る。夫婦で「ダルク」に足を運ぶと、施設の方から尋ねられた。

「息子をどうしたい？一生、病院の中がよいか？一生、刑務所の中がよいか？土の中（死）がよいか？それとも自立がよいか？」当然、「自立がよい」と答えると、「尻拭いをしているうちはダメ。甘やかさず、突き放せ！」と言われてしまう。

次ページに続く

## 薬物依存症者の家族は「共依存」のワナに

薬物依存症は、使っている本人だけでなく、周囲のあらゆる人を引きずりこむ。特に家族は「この人を何とかしなければ」と思い、注意したり、説教したり、責めたりして薬物依存者をコントロールしようとする。また、依存者の起こすトラブルをすべて尻拭いして、献身的に面倒を見る。

家族ならしてしまいそうな行動だが、これらは「共依存」といい、本人に「薬物依存を続けることができる環境」を提供していることになるという。

本人の回復には「突き放し」が必要。頭でわかっているがなかなかうまく行かない。親として、薬物依存の息子を放っておくことなど出来ない。茨城ダルクの家族会に夫婦で通いつつ、この「突き放し」はうまくいかないままの状況が続いた。

### 息子を突き放す苦しさ

その後、入退院や脱走の繰り返し。ダルクから逃げ出し何ヶ月も行方不明になったり、神奈川県で自殺未遂を図ったという連絡が来たり、不安定な日々だった。

とにかくダルクからは、息子が自宅に帰ってきたら追いつくように指導される。

あるとき、しばらくホームレスをやって、また家に帰ってきた。このときは、警察に通報して、ダルクの担当者が警察署まで引き取りにきてくれた。

自宅にパトカーが来たものだから、近所に全部知られてしまった。しかし、もはや世間体を気にしてもいられない状況だったので、かえってスッキリした。

雪の降る2月、息子がまたダルクから自宅に戻ってきた。

「とにかく家に帰らせてくれ。もし、家に入れてくれないなら、これから自殺するから。」と言う。ここで家に入れないと、本当に自殺をするかもしれない。家に入れてあげたい。でも、入れてしまえば、又、同じことの繰り返しになる。私たち夫婦は覚悟を決めた。「あなたの命だから、あなたの好きにしてください。」



### 薬物依存症は病気

今は、クリーン（薬物を使っていない状態）が続いている。しかし、スリップ（再び薬物を使用してしまうこと）しないとも限らないし、今後のことを考えると心配は尽きない。

「薬物に手を出した」ことは確かに悪い。刑務所でも何でも罰を受ければいい。ただ、その後の「依存症」は他の病気と同じなのである。本人も家族も自力で治すことは出来ないの、公的な支援が必要。親も高齢化し、本人も高齢化する。私たちにできることは、「薬物依存症は病気である」ということを、社会に対してアピールしていくことが必要だと思っている。

芸能人の違法薬物による逮捕や危険ドラッグが関係した犯罪や事故など、薬物乱用に関するニュースは後を絶ちません。小西さんの息子さんの薬物依存はアルバイト仲間に誘われたことがきっかけだったそう。ささいなきっかけで一生苦しむことになるなんて本当に恐ろしい…。大切な人を守るためにも「薬物乱用はダメ。ゼッタイ」という活動が続けて行きたいと思いました。

## トピックス

## マイナンバーの利用状況 2017年2月現在

年末調整や支払報告書などで初めて「マイナンバー」を取り扱いましたね。  
一転、労務管理の日常業務においてはどうなっているのでしょうか？

**日本年金機構** → 今のところ、マイナンバーの記入が必須の書類はナシ

**ハローワーク** → 今のところ、マイナンバーの記入が必須の書類はナシ

**労働基準監督署** → 今のところ、マイナンバーの記入が必須の書類はナシ  
※ただし、労災の後遺障害で年金給付に該当した場合は、マイナンバーを求める

**協会けんぽ** → 任意継続被保険者資格取得申請書の被扶養者欄に  
被扶養者のマイナンバーの記入が必須

・・・なんだかんだ言って、今のところほとんど利用されていない状況です。

## 怒りの仰天ニュース

## 震災遺児の財産を横領 6800 万円

東日本大震災で両親を亡くした甥（当時9歳）の未成年後見人として財産を管理中、  
計約 6800 万円を着服したり詐取したりしたとして、業務上横領罪などに問われた叔父で  
会社役員、島吉宏被告（41）に仙台地裁は2月2日、懲役6年の判決を言い渡した。

判決理由で裁判長は「甥の両親の死亡共済金や震災義援金を、高級車購入などに充ててお  
り悪質だ。後見人になった当時9歳だった甥の将来の資金が失われ、人生に多大な影響を与  
えかねない」と批判した。

公判中、甥（現在15歳）は意見陳述書で  
「両親が命と引き換えに残してくれた  
大切なお金のほとんどを使ったと聞き、腹が立ちます。  
大人として罪を償ってほしい」と訴えた。



判決によると、島被告は2011年4月～14年11月、甥の銀行口座から金を払い戻したり  
自らの口座に送金したりして、約6680万円を横領した。甥の母親で、自らの姉が震災で  
亡くなったことを隠して入手した姉名義の預金通帳を使うなどして約120万円をだまし取  
った。

島被告は「自分のために使えと思った」と主張していた。  
既に後見人を解任されている。

信じられない事件です・・・。

## トピックス

## 月末の金曜日は「プレミアムフライデー」



停滞する消費を盛り上げようと、今月24日から「プレミアムフライデー」が始まります。

企業に対して従業員が午後3時をめどに退社できるよう呼びかけ、空いた時間買い物や食事、レジャーなどを楽しんでもらい、停滞する消費を盛り上げようというものです。

企業や官公庁の中には、月末の金曜日は午後には有給休暇の取得を勧めるなど、早めに退社しやすい環境作りに取り組むところもあります。



### ◆ 懸念される問題点

「プレミアムフライデー」に参加できる企業はすべての企業

当然、飲食店、百貨店や娯楽施設等の従業員は働いていなければならない

企業の需要は増えるが、従業員は忙しくなり、勤務時間も増える

部署によっては月末の金曜日は仕事が集まる

終業時刻を前倒しできない

他の日の残業が増える

なお、企業がこの取組に対応するにあたっては、月末の金曜日のみ退社時間を早めるための規定（就業時間）の見直し等を行わなければなりません。今後の動向に注目です。



ちょっとブレイク

### 温泉マークも国際化?! どちらもOK!



現行(JIS)



国際規格(ISO)

日本人にはおなじみの温泉マーク。日本工業規格(JIS)のもので、実は日本独自のもの。

2020年の東京オリンピックに向けて、現行のマークは外国人に「温かい食事に見える」など誤解されるおそれがあるとして、国際規格(ISO)への変更が議論されました。

しかし大分県の観光協会などが新しいマークへの全面変更「なじみのマークを変えないでほしい」と反発。二つのマークの併用が決まりました。



## 「気になる！」を勝手に情報発信コーナー

### 書籍

### 殺人犯はそこにいる

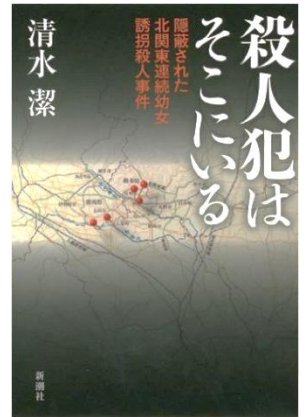
清水 潔

私は普段は読まないジャンルの本。何気なく手にしましたが、これほどショッキングな本はそうないでしょう。衝撃のノンフィクションです。

足利事件（少女誘拐殺人事件）を覚えていますか？1990年5月に起きた少女誘拐殺人事件で、菅家利和（すがや としかず）氏が逮捕され、17年半も無実の罪で服役させられた冤罪事件です。

菅家さんは当時のDNA鑑定を決め手に有罪となり、2008年のDNA再鑑定で無罪となりました。著者は、警察の捜査の不手際と捜査・司法当局の失態、腐敗を厳しく指摘していますが、なんと足利事件を含む5人の少女が殺害された「北関東少女連続誘拐殺人事件」の真犯人を特定したというのです。何故、警察はその男の逮捕に動かないかということ、「別の取り返しのつかない大失態が露わになるから」だそう。

私は知りませんでしたが、著者の清水氏は「桶川ストーカー事件」もスクープした有名なジャーナリスト。本書は「調査報道のバイブル」と絶賛されています。



### 書籍 この世界の片隅に（上・中・下）

こうの 史代

映画が話題でしたが、これはコミックです。

戦中の広島、呉を舞台にした家族ドラマ。

おっとりした性格で絵を描くことが得意な主人公

の「すず」。18歳で広島市から呉へ嫁ぎ、新しい家族、新しい街、新しい世界に戸惑いながら、一日一日を健気に生きている。やがて戦争は激しくなり、日本海軍の要である呉は、すさまじい空襲にさらされ、町並みも破壊されていく…。

当たり前なのですが、戦争中でも人々にふつうの日常の営みがあったことに気づかされます。笑ったり、泣いたり、愛しんだり…また、ふつうにいることの難しさも「すずさん」を通して、知ることができる作品です。



### 今月のさぶろく （せきね事務所の看板ねこ：生後5ヵ月）

猫は高いところが好きなのですね。最近、戸棚や書庫の上などに飛び乗るようになりました。姿が見えないので「どこにいる？」と探しています。

先日、知り合いの仔猫ちゃん達を見る機会がありました。さぶろくと同じ5ヵ月位なのですが、とてもふっくらと太っていました。さぶろくは、抱くと骨が当たるくらいガリガリ。仔猫はこんな感じなのかと思っていましたが、どうも「やせっぽち」のようです。

もっと沢山食べてふくよかな猫になってほしいと願っています。

